令和７年度英語科学習に関する学校評価（児童・保護者・学校関係者）の結果

米原市立息長小学校

令和７年度、本校は英語特例校として高学年で年間８０時間程度、中学年で年間４５時間程度（全学年モジュールの時間を含む）英語科学習を実施した。その学校評価をまとめました。

【児童評価】

設問：英語の時間は楽しいですか。楽しく学べますか。

	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
中学年	８６％	８５％	８４％	８３％	
高学年	７９％	８１％	７９％	８０％	８５％

※端数は四捨五入しています。数値は「あてはまる」「だいたいあてはまる」と回答した割合です。

設問：英語の学習は、大切だと思いますか。

	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
中学年	９５％	９５％	９３％	９１％	
高学年	９０％	９４％	８８％	８６％	８８％

※端数は四捨五入しています。数値は「あてはまる」「だいたいあてはまる」と回答した割合です。

【保護者評価】

設問：お子さんは、英語の学習を楽しみにしている。

	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
中学年	８４％	８５％	８３％	８２％	
高学年	７４％	６９％	７０％	７３％	

※端数は四捨五入しています。数値は「あてはまる」「だいたいあてはまる」と回答した割合です。

【学校関係者評価】

設問：学校は、英語教育に特に力を入れ、児童・生徒のコミュニケーション能力の育成や国際理解教育の推進に積極的に取り組んでいる。

	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
学校関係者	３．５点	３．７点	３．５点	３．２点	

※「よくできている」を４点、「できている」を３点。「あまりできていない」を２点、「できていない」を１点として計算した点数になります。

まとめ

・児童は英語を楽しみ、伸び伸びとコミュニケーション力を高めていくことができています。これからもモジュール学習等、英語に触れることができる機会を保障し、ＡＬＴやパイオニア教員と交流できる課題を設定し、親しみやすい英語の活動を目指します。今後も市の方針 を受け、英語教育に力を入れ、コミュニケーション能力の育成や国際理解教育の推進に取り組むこ とを通して、本校学校教育目標「夢をもち、心豊かにしなやかに生きる息長の子」の育成に努めていきます。